

豊見城市歴史民俗資料展示室

見学ワークシート



探検！ とみぐすく

—むかしのくらしから知恵を学ぶ—



なまえ
名前：

豊見城市歴史民俗資料展示室見学ワークシートの利用について

この「見学ワークシート」は展示室の見学をより実りあるものにするための補助教材として作成しています。見学に際して「ただ見る」だけではなく、質問形式のワークシートを利用することによって「見学の視点」を得ることができ、立ち止まって考えることにつながると考えています。

また、ワークシートは展示内容に沿って設問してありますので、各人の関心の所在に応じて自在に利活用することも可能です。目的に応じてご活用ください。

*尚、ワークシートは現時点における展示内容に沿った設問がされていますので、展示内容の大幅な変更が行われた場合には併せて更新していく予定です。

1. のうぐ 農具

人々が田や畑で作物を作るために、とてもたいせつな役割を果たしたのが「農具」です。ここでは、自然を相手に農業をするためにつくられ、人間の知恵がたくさんつまった「農具」について学びましょう。



1. 「土をたがやす」ために使われる道具にはどのようなものがありますか？

①人が使うもの

絵をかいてみよう！

道具の名前：

②牛や馬に引かせて使うもの

道具の名前：



道具の名前：

2. 作物さくもつができたら、次はそれを運はこぶ必要ひつようが出てきます。運はこんだりする時に使うのはどんな道具ですか？探さがしてみてください。名前と使い方を書いてね。

写真や説明せつめいにヒントがかかれていますよ！



3. 写真にある道具は、どんな時に使う道具なかまの仲間なかまでしょうか？ 答えを下の①～③の中から選えらんで「○」で囲んでください。また(1)～(5)の の中には、それぞれ道具の名前を書いて下さい。

答
え

- ① 畑はたけに種こくもつをまくときに使う道具。
- ② 米こめや豆まめなど穀物こくもつを脱穀だつこくするときや、精米せいまいするときときに使う道具。
- ③ 田んぼいんぼの雑草ぞうそうをぬくときに使う道具。

だっこく 脱穀だつこくとは？→米こめや豆まめなどの穀からをはずして実みをとること。

せいまい 精米せいまいとは？→玄米げんまいからぬかぬかをとりとりぞいで、白米しろこめにすること。

(1)

(2)



(3)

(4)

(5)

2. モノをさわってみよう！！

1. 「モノに触れるコーナー」で、あなたが一番気に入ったモノは何ですか？ そのモノの名前と使い方、そしてどうして気に入ったのかを教えてください。じっくり観察して、絵もかいてみよう！！

名前：

使い方：

気に入った理由：

2. 壁にかけてある時計と、学校やみなさんの家にある時計、なにか違いがありますか？ 違いがあったら、あげてみて下さい。



どうやって
動いているの
かな？

どんな音が
するのかな？

3. 戦争・戦後復興・経済発展

太平洋戦争の時に、沖縄では地上戦が行われ、一般住民をも巻き込む戦場となりました。「鉄の暴風」ともよばれたこの戦争では、多くの犠牲者を出し、沖縄は焼け野原となりました。

しかし、そんな状況からも、人々はたくましく立ち上がり、生活を立て直していくために知恵を出していきました。ここでは、人々の「たくましさ」と「知恵」を見ていきましょう。

1. 戦争の時、戦火から逃げるために、人々はどのようなところに逃げたり、かくれたりしたのでしょうか？



展示室にある、「かまど」もそのようなところから見つかっています。



2. 資料展示室の入り口に展示してある「魚雷」は字宜保から出てきたものですが、どうして豊見城市内から「魚雷」が出てきたのでしょうか？ その理由として何が考えられるのでしょうか？ 次の①～③の中から選んで「○」で囲んでください。

答え

- ① 坂本竜馬が沖縄へのプレゼントとして送ったから。
- ② 戦争当時豊見城村は、海だったから。
- ③ 戦争当時、豊見城村内に「海軍司令部」が置かれていて、近くに格納所もあったため。

3. 写真や展示室の説明文なども参考にしながら、次の文章の（ ）に文字を入れて、文章を完成させてください。



戦争の時に使用された爆弾が、爆発しないで地上などに残ったものは（ ）と呼ばれ、沖縄では現在でも工事の時などに見つかることがあります。

沖縄戦当時、日米両軍により使われた爆弾はおよそ20万トンで、現在でも沖縄の地中にはおよそ（ ）トンの不発弾があるとわれています。

4. 戦争が終わると、何もない焼け野原の中で、人々は手に入るものを工夫して生活に必要なものへと再利用していきました。写真にあるものは、飛行機の機体だった金属を再利用して生活必需品へと変えていったものです。展示室にもあるこのようなものを何製品と呼んだでしょうか？ 「□」に文字を入れて答えを完成させて下さい。



ジ ユ ラ □ □ □ 製品

5. このワンピースは何から作られているのでしょうか？ どうして、その材料を使ったのだと思いますか？

答え：



6. 「より便利な生活へ」のコーナーの展示をよ〜く見て下さい。

この頃の生活の大きな特徴のひとつとして、あるものの普及により、生活がとても便利になったということがあります。そのあるものとは何でしょうか？

テレビ

電気そうじ機

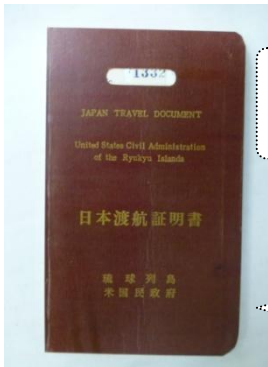
すいはん
電気炊飯器



矢印のついている道具などは、どうやって使うものかを考えると分かるよ！



7. 1972年に沖縄が日本に復帰するまで、沖縄に住んでいる人が『日本』に行く場合、このような『日本渡航証明書』(パスポート)が必要でした。それはなぜでしょう？ 次の①～③の中から答えを選んで「○」で囲んでください。



答え

- ① その頃、沖縄はアメリカ統治下で、『日本』ではなかったから。
- ② 当時、日本のどこに住んでいても自分の住んでいる都道府県を離れる際にはパスポートが必要であったから。
- ③ パスポートが、飛行機や船の「チケット」の代わりだったから。

ヒント：パスポートとは、外国などに行く際に必要な「身分証明書」のことです。

展示室にも展示されています。どこにあるか、探してみてくださいね！！



8. 1972年に日本に復帰するまで、沖縄はアメリカ統治下にありました。そのため、「アメリカ」の影響を色々うけました。「より便利な生活へ」の展示の中から、「アメリカ」の影響を受けていると思うものを挙げてみてね。



沖縄から日本本土に行く時に、「パスポート」が必要だったことも、アメリカと関係があるわよね。

4. ^{いみん}移民

1899 年以降、^{じだいてきはいけい}時代背景や^{けいざいじょうきょう}経済状況などさまざまな理由により、住みなれた場所を離れ、新しい土地での^{せいこう}成功を夢見て海外などへ^{いじゅう}移住する人々が大勢いました。豊見城村からも^{せかい}世界各地へ移り住みその土地で新たな生活をスタートさせていく人たちがいました。

1. 1899 年から 1981 年までの間に豊見城村から移民した人の数はどれくらいいるのでしょうか？

人

2. 1899 年～1981 年の間に、豊見城村から移住した人数を（ ）の中に書いてください。

- ① ^{なんようぐんとう}南洋群島 （ ）人
- ② ハワイ （ ）人
- ③ フィリピン （ ）人



3. 第一回のブラジルへの移民のことを、当時乗っていた船の名前をとって、何移民と呼んでいたのでしょうか？ 次の①～③の中から選んで「○」で囲んでください。

答
え

- ① ^{あまがさまる}「雨笠丸」移民
- ② ^{かんりんまる}「咸臨丸」移民
- ③ ^{かさとまる}「笠戸丸」移民



4. 豊見城村からは、海外だけでなく沖縄の他の地域へも移り住んでいく人がいました。^{やえやまちいま}八重山地域の中でも、豊見城からの移住者が最も多かったのは、何という地域でしょうか？ 次の①～③の中から選んで「○」で囲んでください。また、そこで成功した^{のうさくぶつ}農作物とは何でしょうか？

答
え

- ① ^{かびら}川平
- ② ^{かわはら}川原
- ③ ^{な 覇}那覇

農作物名：

5. 考古・歴史

文字としての記録が残っていない時代の生活を知るためには、当時の人々の遺したモノ（出土品・遺物）や生活の跡などから当時の歴史や生活の様子を明らかにしていくことができます。また、今の私たちからすると見慣れない昔の文章も、読み解いていくことで色々なことが分かってきます！



1. グスクとは、按司と呼ばれる地域の有力者の住まい、または城塞、拜所などのことをいい、豊見城市内にもいくつかのグスクがあります。代表的なものとして、長嶺グスク、平良グスク、保栄茂グスクなどがありますが、その他二つの代表的なグスクは何と何というグスクでしょうか？
名前を書いてください。

2. 豊見城市内で確認されている遺跡の約8割はある時代のものです。それは何時代とよばれるものですか？

時代

カタカナ3文字だよ！！



3. 遺跡から出てくるモノのことを、「遺物」や「出土品」といいますが、沖縄で作られたもの以外が出てくることもあります。どこで作られたものが出てくるのでしょうか？

豊見城市内の遺跡から出土しているものには「○」を、出てきていないものには「×」をつけてください。

- () ①イタリア製のワイングラス
- () ②中国製の青磁の皿
- () ③ベトナム製の赤絵壺
- () ④徳之島で焼かれたカムイヤキ



沖縄以外で作られたものが出てくることから、当時様々な地域と交易（交流）があったということが分かるのよ！！

4. 真玉橋に関する次の文章の（ ）に文字を入れて、説明文を完成させてください。

真玉橋は（ ）川にかかる橋で、豊見城市と（ ）市を結んでいます。

その歴史は古く、琉球国王の尚真によってかけられました。はじめは（ ）だったので、大雨などで壊れることが多く、1708年に（ ）に造りかえてからは頑丈になり、より便利になりました。

2002年には、道幅も広くした新しい石橋が完成しています。現在、新しい石橋のすぐ近くには、昔の石造りの真玉橋の遺構が保存されています。



那覇市側から撮影した現在の真玉橋の様子

真玉橋の移り変わり

年	できごと
1522年	木橋がかけられた
1707年	木橋から石橋への改修工事がはじまる
1708年	石橋が完成
1836年	改修工事（翌1837年終了）
1944年	日本軍により破壊
1948年	アメリカ軍による鉄橋完成
1963年	コンクリート製の橋完成
2002年	道幅を広くした新しい石橋（現在の橋）完成

このあたりには、昔の石造りの真玉橋の遺構があるよ！ 今度、近くを通ったら見てみて！！



5. 現在、豊見城市には「市指定文化財」として指定されているものが4件あります。

一つが『口上覚』（古文書）という豊見城間切の地方役人の仕事内容などを書いたもの、二つ目が『字与根 大城家文書』（古文書）という19世紀の土地の売り買いを記録した文書、三つ目が1837年に改修された当時の真玉橋の石橋の一部（真玉橋遺構（建造物））ですが、もうひとつは何でしょうか？

6. 沖縄県内各地から「ハル石」とよばれる石がみつかります。豊見城市内からも「ハル石」がみつかり、その表面には「カタカナ」や「ひらがな」で「い・ろ・は」などの文字が書かれています。この「ハル石」は何のためのもののでしょうか？ 次の①～③の中から選んで「○」で囲んでください。

答え

- ① その下に小判がうまっていることを示す石。
- ② 土地の大きさや距離などを測るための基点となる石。
- ③ みんなで集まってカルタ遊びをするときに使う石。

6. 地元のまつり



私たちの暮らす豊見城市にもさまざまな行事やまつりがあります。まつりは、ただ単に楽しいだけでなく、さまざまな意味や思いがこめられています。その「意味」や「思い」にふれてみましょう。

1. 「作物の豊作を感謝し、次の豊作を祈り、吉凶を占う」といった意味をもつ「綱引き」ですが、その綱の材料として何が使われていますか？ その材料をどのようにして準備したのでしょうか？ 今と昔で違いがあるのならば、その理由を考えてみましょう。

①綱の材料は？

②その材料はどこでどうやって手に入れていたのだろうか？

昔：

今：

③なぜ、材料の準備の仕方が変わったのでしょうか？

2. 字高安では12年に一度「辰年」の時に盛大な「ガンゴウ祭」が行われています。かつては字高安以外にも4ヶ字でガン（籠）を所有しており、ガン（籠）を所有していない近くの字でも「ある時」には、それを借りて使っていました。ガン（籠）とは何のために使う道具で、今はそれに代わって何を使っているのでしょうか？ また、この「ガン」には、他にもいくつか呼び方がありますが、見た目から呼ばれていた名前は次の①～③のどれか選んで「○」で囲んで下さい。

答え

- ① アカンマー
- ② クロカーミ
- ③ シロクマ



何のために使っていた？（どんな時に使っていた？）

現在、「ガン（籠）」に代わって何を使っていますか？

8. 台所の道具



台所でも、知恵のつまったいろいろな道具をうまく利用しています。おいしい食事を用意するために、どんな作業が必要だったのか、今の生活と比べながら考えてみましょう。



1. 古民家のトウグア（台所）の中に見られる道具と、今あなたの家で使っている道具を比べてみて違うものはありますか？ それは、どのように違いますか？ 2つあげてみてください。

展示室にある道具の名前	展示室にある道具の名前
使い方	使い方
今は、この道具を使っている！！	今は、この道具を使っている！！
今の道具と、昔の道具の違いは？	今の道具と、昔の道具の違いは？

2. 写真にある道具の名前は？ 何を作るために使う道具でしょうか？ その時に使う原材料は何？



道具の名前：

この道具を使って何をつくる？選んで「○」で囲んでね。

①野菜ジュース ②豆腐 ③納豆

原材料：

「豆腐」を使った料理で、あなたの好きなものは何ですか？

9. ぎょぐ 漁具

豊見城においても字与根や、字瀬長など海に面した集落では漁業を営む人たちがいて、「海」という大自然からの恵みを私たちに届けてくれます。

道具について説明する文章の（ ）の中に言葉を入れたり、単語を選んで文章を完成させてください。

1. この船は（ ）といわれる、沖縄を代表する伝統的な漁船です。一本の木をくりぬく方法で作るのが古くて、その後（ ）といわれる板を張り合わせて作るものになり、性能がとてよ良くなつたといわれています。



2. 次の写真の道具について答えてください。



船底にたまった（ **水** / **落ち葉** ）やアカをくみ出すこの道具は（ ）と呼ばれるもので、底の部分がまがっているので使いやすくなつています。



みんながよく使う、あるものとかたちが似ているね！これ、名前はな～に？

3. 糸満漁民が発明した、魚をとるときなどに使うととても便利な「ミーカガン」という道具はいったい何のことでしょうか？

ミーカガンは漁具コーナーにあるよ、ミーグルグルーして探してみてね！！海にもぐって、魚をとる人にとっては、この道具の発明はとってもありがたかつたんだよ。

